

松原市中學生海外交流事業 報告書



平成27年9月19日～9月21日



松原市

はじめに

本市と台北市文山区は、平成 25 年 11 月にセーフコミュニティ友好協定を締結しました。その友好関係をより発展させるため、平成 26 年 9 月 11 日に、本市初となる海外との友好交流協定を締結しました。

本年 2 月の市制 60 周年記念式典にあわせての来日に続き、2 度目になる台北市文山区との国際交流事業は、現地に中学生が訪台する形で実現しました。市内 7 つの中学校から公募した 16 名が 9 月 19 日から 21 日までの 3 日間、ホームステイ、異文化体験、スポーツ（バスケットボール）交流を行いました。

16 名は事前に自ら目標を設定し、中国語や英語の会話練習、バスケットボールの練習をとおして、自分を磨くとともにチームの結束力を高めていました。

このような交流事業は、人とのふれあいや異文化体験も楽しみのひとつですが、松原市の良さや文化を見つめ直すことができる、良いきっかけにもなります。今回は 3 日間という短い期間ですが、彼らが学んだこと成長できた様子などを報告します。

【台湾台北市文山区の概要】

文山区は、台北市の南端に位置し、三方を山に囲まれた細長い盆地がある地域。

ハイキングコースや庭園、果樹園など自然や豊かで、美しい景観をなしており、また、台北市立動物園や猫空ロープウェイ、指南宮という有名な寺院などもあり、観光産業が盛んなまちです。

《中学生海外交流事業スケジュール》

①	6 月 15 日～30 日（月～火）			募 集
②	7 月 1 日（水）			選考・決定
③	7 月 12 日（日）	10 時～12 時	市役所	事前説明会
④	7 月 27 日（月）	13 時～17 時	市役所	事前学習
⑤	8 月 4 日（火）	10 時～14 時	市民体育館	バスケ交流①
⑥	9 月 12 日（土）	9 時 30 分～11 時 30 分 13 時～14 時	市役所 松原第三中学校	直前確認 バスケ交流②
⑦	9 月 19 日～21 日（土～月）		台北市	現地交流
⑧	10 月 3 日（土）	13 時～16 時	市役所	報告会準備①
⑨	10 月 24 日（土）	13 時～16 時	市役所	報告会準備②
⑩	12 月 16 日（水）	18 時 30 分～20 時	松原市文化会館	報告パネル展 (国際理解イベント 同時開催)

1. 行程概要及び参加者

(1) 期間：平成27年9月19日（土）～9月21日（月）

(2) 行程：

日付	行 程
9月19日	06：15 松原市役所市民プラザ集合 06：30 松原市役所出発 07：30 関西国際空港到着 10：00 関西国際空港出発（CI159） 11：50 桃園国際空港到着 13：00 移動 13：50 ホテル着、アフタヌーンティ 15：10 移動 15：50 国立故宫博物院見学 17：20 移動 18：00 夕食会 20：30 各ホストファミリー宅へ移動
9月20日	終日 各々ホストファミリーと行動
9月21日	07：30 私立静心中学に集合 07：40 教育交流（教師節、授業体験） 09：50 移動 10：15 スポーツ交流（バスケットボール親善試合） 12：15 移動 12：30 昼食 14：30 移動 15：20 桃園国際空港到着 17：25 桃園国際空港出発（CI158） 21：05 関西国際空港到着 22：00 関西国際空港出発 23：00 松原市役所到着

(3) 参加者：行政関係者 7 名、教育関係者 4 名、学生 16 名、通訳 1 名

	氏 名	所属・役職
1	澤井 宏文	松原市長
2	中尾 憲次	市長公室 秘書広報課課長補佐
3	松本 恵大	市長公室 秘書広報課
4	中 清行	市長公室 秘書広報課
5	北野 一雄	市民協働部 市民協働課課長
6	青山 洋子	市民協働部 市民協働課参事
7	北野 智海	市民協働部 市民協働課 NPO・国際交流係長
8	藤田 敦子	教育委員会事務局 学校教育部 教育推進課課長
9	森 奏	教育委員会事務局 学校教育部 教育推進課主幹
10	郭 静儀	通訳
11	吉川 年幸	松原第三中学校校長
12	中村 綾子	松原第四中学校教員
13	宇戸 李花	松原中学校 2 年
14	豆谷 美乃莉	松原第二中学校 1 年
15	瀬川 輝也	松原第二中学校 2 年
16	成富 彩花	松原第三中学校 3 年
17	川原 祥利	松原第三中学校 3 年
18	海堀 珠生	松原第四中学校 1 年
19	齋藤 陽季	松原第四中学校 2 年
20	高橋 真子	松原第四中学校 3 年
21	今井 亜門	松原第四中学校 3 年
22	河田 竜治	松原第四中学校 3 年
23	手束 萌	松原第五中学校 2 年
24	山口 心優里	松原第五中学校 2 年
25	西崎 翔真	松原第五中学校 3 年
26	南 ひなた	松原第六中学校 1 年
27	大阪 拓未	松原第六中学校 3 年
28	松原 光汰	松原第七中学校 1 年

2. 国立故宮博物院見学

◆日時及び会場

- ・日 時：平成27年9月19日（土）15:50～
- ・会 場：国立故宮博物院

A 各自、自由行動

B 国立故宮博物院の紹介

北京の紫禁城や中央博物院から持ち出した文物 59 万点に、独自に収集した 1 万点を加え、収蔵品総数は 69 万点を超える。常時約 2 万点を展示しており、常設展示品以外は 3～6 か月に一度入れ替わる。

C 感想

展示物の多さや規模に圧倒されたという声が多く、有名なヒスイの白菜や角煮石については日本語での説明を受けることができ、また日本語のパンフレットも配られとても良かったと話していた。帰国してからは故宮博物院の歴史についても知りたくなったという学生もいた。



3. 夕食会

◆日時及び会場

- ・日 時：平成27年9月19日（土）18:00～
- ・会 場：ジュミンフェン
- ・出席者：白博士、文山区長、セーフコミュニティ関係者、台北市立動物園園長、
体育協会会長、ホストファミリー16世帯ほか

A ホストファミリーと同席し初の対面

各自、事前学習をしておいた中国語や英語で自己紹介し、それぞれのホストファミリーと食事を楽しんだ。ホストファミリーは私立静心中学の中学生の家族で、夕食会には家族で出席してくれ、緊張する本市の中学生に優しく接してくれていた。

B 感想

全員の共通の感想は、優しく接してくれてうれしかったというもの。家族みんな英語がうまく、中には日本語を話せる人もいたようで、本市の中学生は緊張が解けたということだった。また本当の家族のように明るく接してくれたという感想もあった。



4. ホストファミリーとの一日

◆日時及び会場

- ・日時：平成27年9月20日（日）終日
- ・会場：台北市ほか

A 各自、ホストファミリーと行動

指南宮、文山区公所、九份、十分、淡水、猫空、ランタンフェスティバル、台北動物園、台北101、美術館、公園ほか

B 感想

朝早くから夜までスケジュールを埋めてくれているホストファミリーが多かった。朝ごはんから外食で、昼間は家族みんなで車移動というファミリーが多く、観光地の見学、伝統文化の体験や世界第7位の高さを誇るビル「台北101」では360度の台北市街の眺めを楽しむなど台北での一日を満喫していた。夜には夜市でエビ釣りや伝統料理の食事があり、独特の雰囲気と匂いに若干圧倒されたとのことだった。食事では小籠包、マンゴーかき氷に人気が集まった。



5. 教育交流

◆日時及び会場

- ・日時：平成27年9月21日（月）7：40～
- ・会場：私立静心中小学

A 朝会での教師節

この日は孔子の誕生日で国が「教師節」としている日。教師に対する日頃の感謝の気持ちを表す日として、朝会では教師に花束が渡され、学生が主体となってこの日を祝うVTRやイラスト、クイズを披露するというものだった。

B 授業体験

各クラスに別れ、吹奏楽を披露してもらったり、クラス全員で校庭でバスケットボールをしたりと、学生が創作した授業体験がそれぞれで行われた。

C 感想

2月に来日した静心中学の学生と交流を行った学生は、静心中学に行くことができ、またほかのクラスメイトとも話ができ楽しかった。特に日本のアニメの話で盛り上がったとの感想があった。また、この学校には幼稚園、小学校も同じ敷地内、建物内にあり、英語や日本語の授業があることに驚いていた。



6. スポーツ交流

◆日時及び会場

- ・日時：平成27年9月21日（月）10:15～
- ・会場：文山区スポーツセンター
- ・参加者：文山区副区長、実践国中学、木柵国中学

A 1試合15分を3試合

- ①実践国中学（男子）対 松原市（男子）
- ②実践国中学（女子）対 松原市（女子）
- ③木柵国中学（男子）対 松原市（男子）

B 感想

「バスケのルールは同じで相手チームは台湾でも3位と4位のチームで強かった」

「負けたのが悔しかったけど、みんなと一緒にできて良かった」

「強いチームだったけど点数が取れて良かった」

「ほかのスポーツでも交流したい」

「体育館が土足で入ってよかったことに驚いた」



7. ふりかえり

A 目標は達成できましたか

- ・達成できた
 - 「英語と中国語を覚える」
 - 「台北の文化を知る」
- ・ほぼ達成できた
 - 「外国人とのコミュニケーション」
 - 「英語で話す」
 - 「台湾の学校はどんなところか（授業や生徒）を知る」
 - 「台湾ではやっているものを知る」
 - 「中国語で話す」
- ・あまり達成できなかった
 - 「英語で話す」
 - 「中国語で話す」

B 一番心に残ったことはなんですか

- 「匂いがきつかったこと（臭豆腐など）」
- 「台北の区長、副区長が優しかったこと」
- 「すべて」
- 「ホストファミリーの家がマンションなのに2階建てだったこと」
- 「ホストファミリーとの外出」

C 今後このような機会があれば参加したいですか

「はい」（全員）



8. 報道

台北文山姊妹市 日本松原市體驗異國文化

【人間社記者 連憶蘭 台北文山報導】 2015-09-25



台北市文山區公所 9 月 19 至 21 日舉辦「中日交流活動」，日本松原市長澤井宏文、松原市立松原第三中學校長吉川年幸及學生一行 16 人，展開 3 天文化、教育、體育的體驗，看見台灣學生表現尊師重道的禮儀，讓澤井宏文留下深刻印象。

文山區副區長于保雲表示，文山區與日本松原市在 2014 年締結為姊妹市，除了增進 2 市的行政、社區、教育的提升外，文山區區長蔡培林為此次交流，安排豐富多元的教學參觀，觀賞故宮博物院的文物展，體驗九份、西門町台灣在地文化、籃球聯誼賽、寄宿家庭等，深獲松原市長的肯定。

澤井宏文表示，今年 2 月台北靜心中小學曾前往日本，以悠揚管弦樂慶賀松原市 60 年市慶，給予美好印象。這次的回訪，參觀靜心學校看見學生表現對師長的禮敬，校方與學生彼此的交流傳承，及寄宿家庭的親切與體貼，讓他深深感動。

校長吉川年幸肯定這次「中日交流活動」，他表示，不僅開擴學生國際視野，有助於學校邁向國際化，期望能有長遠的交流。

體育交流方面，9 月 21 日於文山運動中心展開。台北實踐國中男、女籃球隊、木柵男籃球隊，以及松原男、女學生，分 3 組聯誼賽。另外，加賽一場罰球線投籃賽，副區長于保雲、松原市長澤井宏文代表 2 市聯誼。實踐國中家長會會長陳振洲說，課業觀摩及體育交流，都是學生很好的學習模式。

○日本語訳

台北文山姉妹市 日本松原市が異国文化を体験

【人間社記者 連億蘭 台北文山報道】 2015-9-23

台北市文山区役所は9月21日「中日交流活動」を行った。日本松原市長 澤井宏文氏、松原市立松原第三中学校 校長 吉川年幸氏及び学生一行16名が3日間にわたり文化、教育、スポーツを体験し、台湾の学生による道教の礼儀を見学、澤井宏文市長らに深い印象を残した。

文山区の于保雲副区长によると、文山区と日本の松原市は2014年に姉妹市締結を行い、2市間では行政、地域、教育などの分野において交流を進めてきた。そして今回は文山区の蔡培林区長も交流を進めており、多角的な視点での教育参観や故宫博物院での展示物鑑賞、九份や、西門町において台湾の文化に触れ、またバスケットボールの友好試合、ホームステイなどを行い、松原市長らを快く受け入れた。

澤井宏文市長によると、今年2月台北靜心中小学が日本を訪れ、松原市の市制60周年式典において披露してくれた吹奏楽の演奏は素晴らしかったことを覚えている。今回の訪台で靜心小学校の教師節を見学し、学生どうしの友好的な交流も目の当たりにできた。またホームステイ先の家庭ではとても良くしてもらい、非常に感謝をしているとした。

吉川年幸校長は「中日交流活動」を高評しており、ほかにも、学生の国際的視野が広がったこと、学校において国際化を進めるきっかけになったこと、そして今後も継続した交流を期待しているとした。

スポーツ交流は9月21日に文山スポーツセンターで行われた。台北実践中学の男子、女子バスケットボールチーム、木柵中学の男子バスケットボールチーム、そして松原市の男子、女子学生が友好試合を3試合行った。最後に、2市を代表して、于保雲副区长と澤井宏文市長がフリースロー対決を行った。実践中学のPTA会長 陳振洲氏は子ども同士の触れ合いやスポーツ交流は学生にとって非常に良い学びの場となっていると話した。

おわりに

今回の国際交流事業は、中学生の海外交流という初の試みであることに加え、その学生同士がほぼ初対面ということで、バスケットボールの試合に向け、チーム作りを同時に行う必要があるというものでした。

出発前は、言語や文化の違いなどに、期待と不安で非常に緊張していた中学生16人ですが、ホストファミリーが家族のように温かく受け入れてくださり、故宮博物院や猫空、九份、台北101、夜市などで食や文化の体験をさせていただきました。また私立静心国民中小学での授業体験や木柵國中学、実践國中学とのバスケットボールの親善試合をとおして、同じ年代の子どもたちと交流することで、文化の違いを実感することを楽しみ、多くの発見・学びがありました。

帰路に就く彼らは表情豊かに「英語での会話をがんばった」「また台北にきたい」などの感想をくれ、一回りも二回りもたくましくなった姿をみせてくれました。

今回の交流において得た学びは、16人の中学生を通じて、多くの松原の子ども達に伝えてくれることで、今後の文山区との絆をさらに深めてくれることでしょう。

このように大変実りのある交流事業が実施できたのは、台北駐大阪経済文化弁事処をはじめ、台北市文山区公所、文山セーフコミュニティ安全促進会、そして多くの市民の皆さまにご協力をいただくことができたからと感謝しております。

今後は、さらに、教育、スポーツ、文化芸術をはじめ、観光、産業など多様な分野で交流を図り、お互いの理解と連携を深め、双方のさらなる発展に繋げていきたいと考えています。

